

案件

スケートボードパーク整備事業の最優秀提案者等の選定について

スポーツ振興課

1. 政策等の背景・目的及び効果

アーバンスポーツの環境の充実を図ることを目的として、淀川河川公園枚方地区にスケートボードパークを整備するため、公募型プロポーザル方式による事業者選定を進めてきました。

この度、本市の附属機関であり、有識者で構成される「スケートボードパーク整備事業者選定審査会」（以下、「選定審査会」という。）から、最優秀提案者及び優秀提案者の答申を受けたことから、選定の結果等について、報告するものです。

2. 内容

(1) 事業概要

事業名：スケートボードパーク整備事業

場所：淀川河川公園枚方地区 バasketコート横

面積：1,500m²程度

事業期間：契約締結日から令和9年3月31日（予定）



(2) 事業者選定の概況

本事業の事業者を選定するため、令和7年(2025年)9月10日に選定審査会に諮問しました。

募集要項等については、選定審査会の意見を踏まえ、内容を確定し公募を行った結果、応募者は3者でした。

① 応募者

- a. I F W共同企業体
- b. スポーツテクノ和広・都村製作所共同企業体
- c. 高山建材・Natty建設工事共同企業体

② スケートボードパーク整備事業者選定審査会

	氏名	分野	所属
会長	相原 正道	地域スポーツ	大阪経済大学 人間科学部 教授
副会長	富山 浩三	スポーツマネジメント	大阪体育大学 スポーツ科学部 教授
委員	岸田 陽子	法律	大谷・岸田法律事務所 弁護士
委員	中川 恵子	財務	中川恵子税理士事務所 税理士
委員	森岡 正治	関係団体	日本スケートボード協会 関西支部 支部長

③ 選定審査会での審査概要

選定審査会において、応募者のうち第1次審査（参加資格審査）に合格した2者（応募者b及びc）から提出された提案書の内容が要求水準書に掲げた条件を満たしているかについて審査が行われ、要求事項を満たしていることが確認されました。その後、提案書に記載されている各提案内容について、応募者のプレゼンテーションを実施し、提案内容等に対する応募者への質疑を行った後、審査項目ごとに評価を行い、計画内容及び価格提案について総合評価を行いました。

《 事業者選定の経過 》

- | | |
|-------------------|--|
| 令和7年(2025年)9月10日 | 第1回選定審査会開催
・ 選定審査会への諮問
・ 募集要項、要求水準書及び評価基準等について審議 |
| 令和7年(2025年)12月22日 | 第2回選定審査会開催
・ 応募状況等の報告
・ 提案事業者によるプレゼンテーションの実施 |
| 令和8年(2026年)1月14日 | 第3回選定審査会開催
・ 最優秀提案者等についての審議
・ 選定審査会からの答申 |
| 令和8年(2026年)1月19日 | 最優秀提案者及び優秀提案者の決定 |

④ 評価方法

評価については、評価基準により計画内容及び価格提案について、それぞれ点数化し、それらを合算する総合評価方式で行いました。計画内容は70点満点、価格提案は30点満点とし、これらの合計100点満点で評価を行いました。

(3) 最優秀提案者等の選定

選定審査会における審査結果により、下記のとおり選定する旨の答申が提出されました。

最優秀提案者 高山建材・Natty建設工事共同企業体

優秀提案者 スポーツテクノ和広・都村製作所共同企業体

審査項目		配点	b. スポーツテクノ和広・ 都村製作所共同企業体	c. 高山建材・Natty建設工 事共同企業体	
内容 審査	1 実施体制及び事業全体のスケジュール	10点	8.0	9.0	
	2 整備内容	a. 配置・形状	15点	4.5	15.0
		b. 安全性	15点	9.75	13.5
		c. 品質	15点	12.0	12.0
		d. メンテナンス	5点	4.0	4.0
	3 賑わいの創出	10点	4.0	10.0	
価格審査		30点	24.53 (提案額：45,200,000円)	15.93 (提案額：49,500,000円)	
合計点		100点	66.78	79.43	

参考資料 審査講評及びイメージパース (別添のとおり)

3. 実施時期等（予定）

令和8年(2026年)2月 総務委員協議会で報告、事業者との契約締結

令和8年(2026年)2月～令和9年(2027年)3月

スケートボード関係者や市民との意見交換

実施事業者による設計・施工、国への許可手続きなど

令和9年(2027年)4月頃 スケートボードパーク供用開始

4. 総合計画等における根拠・位置付け

- ① 基本目標 一人ひとりの成長を支え、豊かな心を育むまち
施策目標17 誰もが文化芸術やスポーツなどに親しみ、学び、感動できるまち
- ② 計画の推進に向けた基盤づくり
計画推進3 持続可能な行財政運営を進めます



5. 関係法令・条例等

スポーツ基本法

第3期スポーツ基本計画（文部科学省）

第3次大阪府スポーツ推進計画

6. 事業費・財源及びコスト

《事業費》	令和8年度（2026年度）	
	スケートボードパーク整備事業（設計・施工委託料）	49,964千円
	※令和7年度に債務負担を設定	
《財 源》	地方債	22,400千円
	雑入（スポーツ振興くじ助成金）	16,000千円
	基金繰入金（まち・ひと・しごと創生基金）	4,000千円
	（施設保全整備基金）	7,000千円
	一般財源	564千円

b. スポーツテクノ和広・都村製作所共同企業体

申請団体2は、スケートボードパークの施工実績やノウハウが十分で、健全な経営を保持し、提案すべき内容についてはひとつとおり漏れなく検討されている。今回の提案では管理・責任体制についても十分検討され、メンテナンスや河川増水時の対応を考慮して撤去が可能な置き型のセクションとシェルター等が配置されており、具体的な提案が高く評価できる。

安全性については、セクションエリアをネットで囲うなど、他の公園利用者への安全配慮がされており、増水時の撤去・移動・復旧もよく考えられているが、初心者と中・上級者のエリアに境目が無く、動線が交差する可能性や、エリア内でボードが飛んだ際の安全対策について懸念がある。

品質については、独自開発の表面材を使用し、レールの錆やコンクリートの劣化等についても十分に検討されている。また、設置後の定期的な点検や修繕費用が示され、スチール製セクションの2年間の無償保証や設置後1度の無料メンテナンスがあり、交換等のメンテナンスについても具体的な提案がなされており評価できる。

一方、配置・形状については、滑走エリアの面積が狭いことや、セクションの数が少なく高さも中・上級者にとっては物足りなさを感じる印象を受ける。また、コースが単純で左右一方向へアプローチする配置のため回遊性に欠け、順番待ち等が多数発生することが予想されるデザインとなっていることから、スケートボード関係者等の意見を取り入れ、高さを1メートル以下に限定せず、中・上級者も楽しめてコンテストやイベント等も可能なセクションを配置することを期待する。

c. 高山建材・Natty 建設工事共同企業体

申請団体3は、地元に着した施工実績を持つ事業者と世界中に数多くのスケートボードパークの施工事例を有する事業者の共同企業体であり、現状の問題点の把握と分析を的確に行っており、スケートボードとスケートボードパークに強い熱意を感じた。高さ1メートル以内の常設式コンクリートセクションによる提案であり、排水対策が考慮されたデザイン性に優れる魅力的な提案となっている。

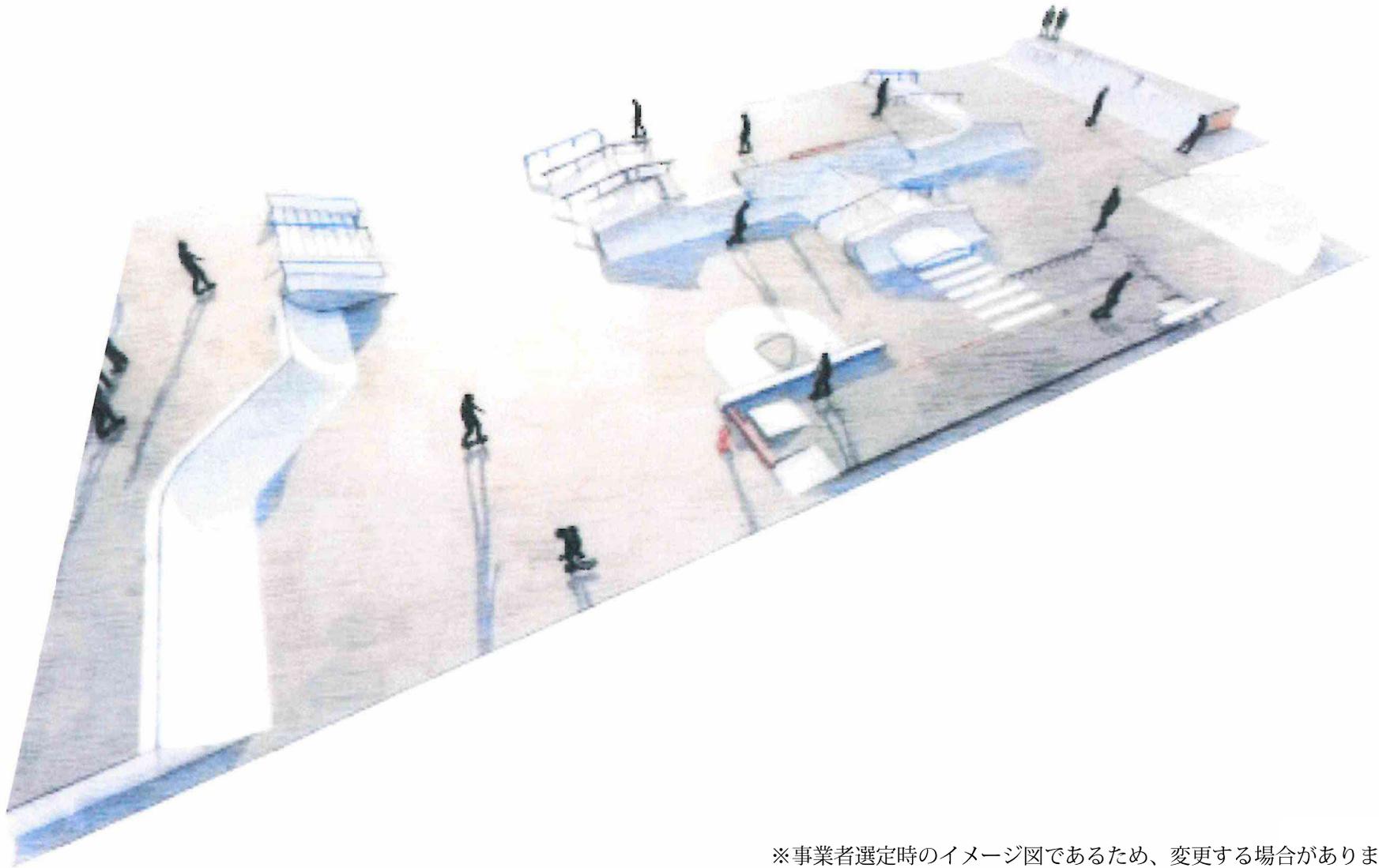
配置・形状については、レベルに応じたセクション配置や、一方向の流れとなるように意識された回遊性を備えており、初級エリアと中・上級エリアが利用者によりわかりやすくなっている。また、設計の段階から完成までの間に地元スケートボーダーから意見を吸い上げる手立てを有しており、利用者が真に望む配置・形状・運営が行われることが期待される。

安全性については、初級者と中・上級者が滑走時に交錯しない動線となっており、板が流れた際の流れ止めなどの配慮や、セクション端部の盛り土と芝生による段差対策なども行われており、具体的な提案が評価できる。

賑わいの創出については、中・上級エリアはコンテストやイベントの開催も可能なレベルの提案となっており、スケートボード競技のみならず、タウンミーティングやマナー教室など、地域おこしや住民定着までも意識した今後の運用についても大いに期待できる。

管理やメンテナンスについては将来的に検討されていく感じではあるが、現段階では十分に計画されていないように思われるため、さらなる検討を期待する。

参考資料 2_申請団体 3 (高山建材・Natty建設工事共同事業体) [最優秀提案者]



※事業者選定時のイメージ図であるため、変更する場合があります。